



2023年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月14日

上場会社名 株式会社トスネット

上場取引所 東

コード番号 4754 URL <http://www.tosnet.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 氏家 仁

問合せ先責任者 (役職名) 管理統轄本部取締役統轄本部長 (氏名) 朽木 雄二

TEL 022-299-5761

四半期報告書提出予定日 2023年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第3四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第3四半期	8,041	9.5	532	39.2	610	31.8	383	39.5
2022年9月期第3四半期	7,340	1.7	382	10.7	463	1.1	275	2.4

(注) 包括利益 2023年9月期第3四半期 413百万円 (54.9%) 2022年9月期第3四半期 266百万円 (7.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第3四半期	81.13	
2022年9月期第3四半期	58.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第3四半期	10,152	6,986	68.8
2022年9月期	9,409	6,681	71.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第3四半期 6,986百万円 2022年9月期 6,681百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		0.00		23.00	23.00
2023年9月期		0.00			
2023年9月期(予想)				23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,150	1.2	710	2.8	810	0.6	510	2.3	107.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期3Q	4,732,600 株	2022年9月期	4,732,600 株
期末自己株式数	2023年9月期3Q	2,503 株	2022年9月期	2,503 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期3Q	4,730,097 株	2022年9月期3Q	4,730,097 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年10月1日から2023年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が薄れ、経済活動の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、ロシア・ウクライナの情勢の長期化や世界的な資源価格の高騰、円安による物価の上昇などにより、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

警備業界におきましては、各種イベント、コンサートなどが再開され、警備関係の需要が底堅い動きになってきております。

このような状況のもと、当社グループは主力の交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等の警備事業及び電源供給事業の積極的な営業活動を展開し、事業の拡大と収益力の強化に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は8,041百万円(前年同四半期比9.5%増)、営業利益は532百万円(前年同四半期比39.1%増)、経常利益は610百万円(前年同四半期比31.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は383百万円(前年同四半期比39.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(警備事業)

警備事業は、交通誘導警備、施設警備、列車見張り警備等を行っております。警備事業の売上高は6,864百万円(前年同四半期比7.4%増)、セグメント損失は36百万円(前年同四半期は69百万円の損失)となりました。警備事業の業務別売上高の状況は以下のとおりです。

① 交通誘導警備

交通誘導警備につきましては、ゼネコン、建設工事業会社等へ積極的な営業展開を行った結果、当部門の売上高は4,450百万円(前年同四半期比5.4%増)となりました。

② 施設警備

施設警備につきましては、当社グループの重要商品と位置付け、首都圏を中心に積極的な営業展開をした結果、当部門の売上高は1,961百万円(前年同四半期比11.1%増)となりました。

③ 列車見張り警備

列車見張り警備につきましては、有資格者の増強を図ることにより、他警備事業の効率性も高めることができる当社グループの注力商品の一つと位置付けております。当部門の売上高は229百万円(前年同四半期比8.8%増)となりました。

(ビルメンテナンス事業)

ビルメンテナンス事業は、ビルメンテナンス、清掃業務及び労働者派遣業務等を行っております。ビルメンテナンス事業の売上高は168百万円(前年同四半期比11.2%増)、セグメント損失は1百万円(前年同四半期は3百万円の利益)となりました。

(メーリングサービス事業)

メーリングサービス事業は、メール便発送取次業務、販促品・サンプル等の封入・梱包及び発送取次業務等を行っております。積極的な営業活動を行った結果、メーリングサービス事業の売上高は348百万円(前年同四半期比11.1%増)、セグメント利益は4百万円(前年同四半期は11百万円の損失)となりました。

(電源供給事業)

電源供給事業は、各種イベント及びコンサート関連の仮設電源の提供・テレビ局関係の中継のバックアップ等各種電源需要への電源供給業務を行っております。イベント、コンサート等が再開された結果、電源供給事業の売上高は661百万円(前年同四半期比35.5%増)、セグメント利益は188百万円(前年同四半期比109.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比べ743百万円増加し、10,152百万円となりました。この主な要因は、警備未収入金が7百万円減少したものの、現金及び預金が533百万円、のれんが61百万円増加したこと等によるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ439百万円増加し、3,166百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等が26百万円減少したものの、賞与引当金が82百万円、長期借入金が253百万円増加したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比べ304百万円増加し、6,986百万円となりました。この主な要因は、株主に対して108百万円の配当金の支払いがありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益として383百万円計上したことにより、利益剰余金が274百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は68.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の連結業績予想につきましては、2022年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,566,842	5,100,167
受取手形及び売掛金	309,403	325,490
電子記録債権	4,595	2,515
警備未収入金	1,084,302	1,076,665
仕掛品	99	93
原材料及び貯蔵品	69,197	71,018
その他	161,395	194,069
貸倒引当金	△4,769	△5,150
流動資産合計	6,191,067	6,764,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	479,232	482,008
土地	1,471,250	1,489,097
その他	321,047	305,231
有形固定資産合計	2,271,530	2,276,336
無形固定資産		
のれん	146,556	207,957
その他	55,939	64,216
無形固定資産合計	202,495	272,173
投資その他の資産		
投資有価証券	226,553	241,398
投資建物（純額）	2,257	2,057
投資土地	72,085	72,085
会員権	3,603	3,703
繰延税金資産	156,675	181,872
その他	284,280	339,917
貸倒引当金	△1,761	△1,761
投資その他の資産合計	743,694	839,272
固定資産合計	3,217,721	3,387,783
繰延資産		
開業費	322	80
繰延資産合計	322	80
資産合計	9,409,110	10,152,734

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	500,000	500,000
1年内返済予定の長期借入金	129,222	159,976
未払法人税等	140,650	114,200
未払消費税等	142,930	199,154
未払費用	610,720	648,422
賞与引当金	83,060	165,890
その他	315,196	313,168
流動負債合計	1,921,779	2,100,811
固定負債		
長期借入金	270,914	524,284
退職給付に係る負債	354,611	383,098
その他	179,991	158,154
固定負債合計	805,516	1,065,536
負債合計	2,727,295	3,166,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	782,930	782,930
資本剰余金	766,550	766,550
利益剰余金	5,125,823	5,400,762
自己株式	△773	△773
株主資本合計	6,674,530	6,949,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21,504	45,900
退職給付に係る調整累計額	△14,220	△8,982
その他の包括利益累計額合計	7,283	36,917
純資産合計	6,681,814	6,986,385
負債純資産合計	9,409,110	10,152,734

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2023年6月30日)
売上高	7,340,674	8,041,614
売上原価	4,890,139	5,371,375
売上総利益	2,450,535	2,670,238
販売費及び一般管理費	2,068,251	2,138,156
営業利益	382,283	532,082
営業外収益		
助成金収入	36,504	35,684
受取賃貸料	24,103	25,411
投資有価証券運用益	15	—
その他	36,389	26,754
営業外収益合計	97,012	87,849
営業外費用		
支払利息	4,539	4,854
投資有価証券運用損	1,679	2,613
その他	10,030	2,061
営業外費用合計	16,249	9,529
経常利益	463,047	610,403
特別利益		
受取保険金	—	45,357
特別利益合計	—	45,357
特別損失		
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	20,550
特別損失合計	0	20,550
税金等調整前四半期純利益	463,047	635,210
法人税、住民税及び事業税	188,303	249,286
法人税等調整額	△347	2,194
法人税等合計	187,955	251,480
四半期純利益	275,091	383,730
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,091	383,730

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	275,091	383,730
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13,466	24,395
退職給付に係る調整額	5,254	5,237
その他の包括利益合計	△8,211	29,633
四半期包括利益	266,879	413,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266,879	413,363

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、当該会計基準の適用指針が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,388,161	151,340	313,367	487,805	7,340,674
外部顧客への売上高	6,388,161	151,340	313,367	487,805	7,340,674
セグメント間の内部売上高又は振替高	96,836	22,506	—	576	119,918
計	6,484,997	173,847	313,367	488,381	7,460,593
セグメント利益又は損失(△)	△69,414	3,948	△11,696	89,770	12,608

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	12,608
セグメント間取引消去	369,674
四半期連結損益計算書の営業利益	382,283

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合 計
	警備事業	ビルメンテナンス事業	メーリングサービス事業	電源供給事業	
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,864,012	168,296	348,301	661,003	8,041,614
外部顧客への売上高	6,864,012	168,296	348,301	661,003	8,041,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	115,322	11,726	283	576	127,909
計	6,979,334	180,023	348,585	661,579	8,169,523
セグメント利益又は損失(△)	△36,565	△1,427	4,574	188,037	154,618

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	154,618
セグメント間取引消去	377,464
四半期連結損益計算書の営業利益	532,082

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第2四半期連結会計期間において株式会社トップロードの全株式を取得し、新たに連結子会社としたことにより「警備事業」のセグメントにおいて、のれんが85,599千円増加しております。